

問 28 さまざまな人権問題を解決するために、講演会・講座などいろいろな活動が行われていますが、あなたはここ2～3年のうちに参加されたことがありますか。次のうちから、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	回 答 者 数	対総回答者数比
何回となく参加した	180	8.81%
1～2回は参加した	483	23.64%
参加したことはない	1,266	61.97%
無効・無回答	114	5.58

(有効回答 1,929人 回収数比 94.42%)

問 29 あなたが、人権問題などについて知識を得たり、学習したりした中で最も影響を受けた又は知識を得た方法は何ですか。次のうちから、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

	回 答 者 数	対総回答者数比
学校・教育機関での授業	641	33.77%
テレビ	1,123	59.17%
ラジオ	104	5.48%
新聞	864	45.52%
雑誌・書籍など	346	18.23%
インターネット	139	7.32%
市の広報誌など公的な機関紙	575	30.30%
セミナーや研修会、地域での講座	447	23.55%
職場での研修	293	15.44%
知人・友人の口コミや世間話	374	19.70%
家族や家庭内の会話	345	18.18%

(総回答者数 1,898人 回収数比 92.90%)

問 30 あなたは、人権問題のことをこれからどのような方法で学びたいと思いますか。次のうちから、あなたの意見に最も近いものの番号に3つ以内で○をつけてください。

	回 答 者 数	対総回答者数比
当事者の講演などを聞きたい	611	31.87%
当事者の手記、作文、詩など書籍を読みたい	521	27.18%
映画、テレビ番組、ビデオなど映像を利用して学びたい	826	43.09%
学校の先生、研修者による専門的な話を聞いてみたい	342	17.84%
少人数にわかれ、お互いに体験したり、意見を出し合って議論してみたい	140	7.30%
当事者と話し合えるような交流の場に参加したい	202	10.54%
特に思いつかない	647	33.75%

(総回答者数 1,917人 回収数比 93.83%)

問 28～30 では、人権に関する啓発について質問した。

■ 講演会・講座への参加状況

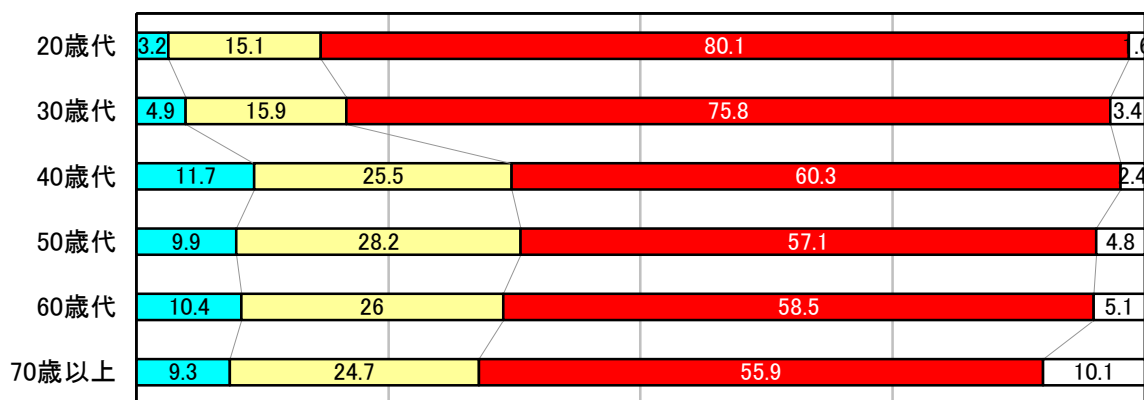
問 28 では、講演会・講座について、ここ2～3年の間の参加状況を尋ねた。

「何回となく参加した」人は、8.81%、「1～2回参加した」人は、23.64%、「参加したことがない」人は、61.97%であった。

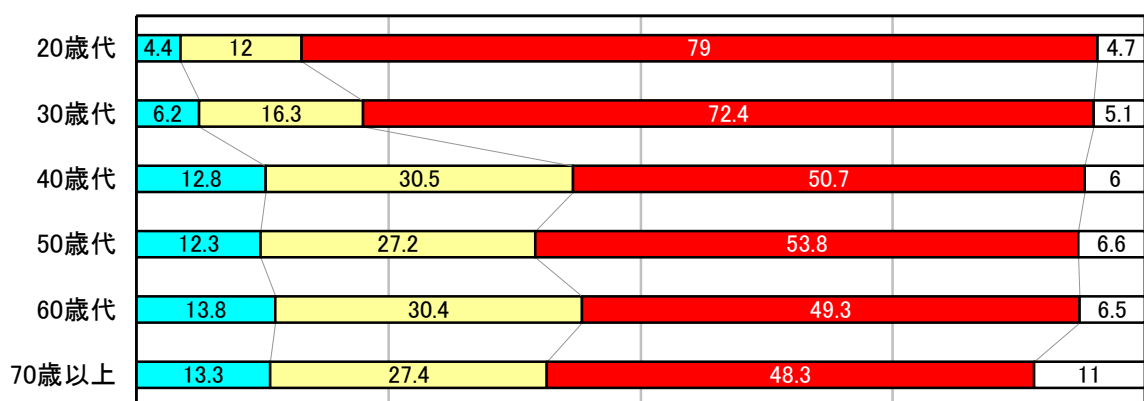
H18調査では、「何回となく参加」が11.3%、「1～2回参加」が25.4%、「参加したことがない」が56.3%で、比較するとやや参加状況が落ちてきている。

参加率の低下の原因の1つとして、自治会単位で開催される地区公民館の人権講座の開催回数で、平成18年度の実施報告では、127会場4,202回の実施であったが、平成22年度の報告では、106会場3,605回と約15%減になっている状況が考えられる。

回答比較（年代別、H18 調査）



問 28 講演会・講座などへの参加状況（H22 年度調査）



講演会・講座などへの参加状況（H18 年度調査）

■ 何回となく参加 □ 1~2回参加 ■ 参加なし □ 無効・無回答

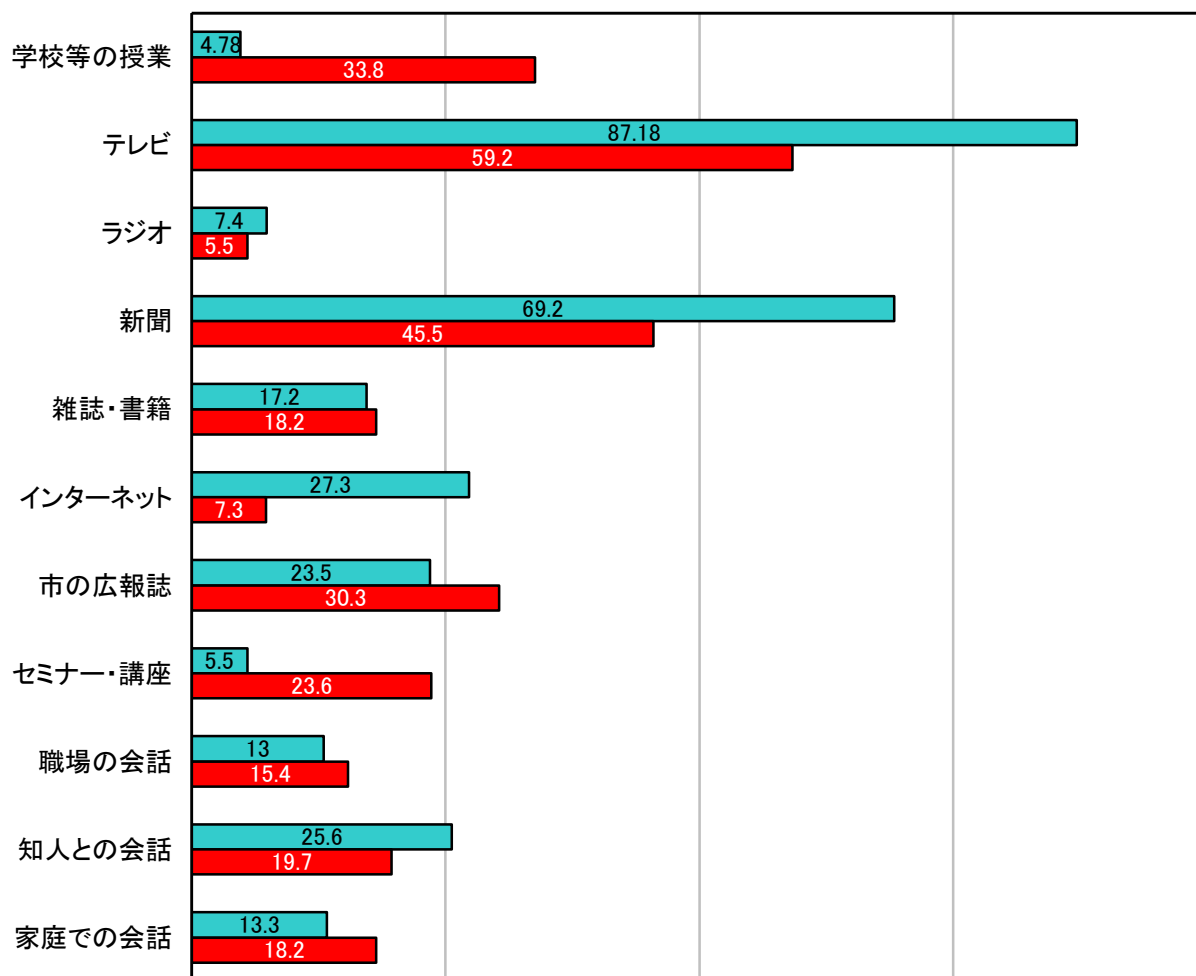
年代別での講座・講演会の参加状況を見てみると、20歳代、30歳代の参加率が顕著に低いことがわかる。また、前回調査時と比較すると、ほぼ同じ水準で推移している。H15 調査時にも同様の傾向は見られ、（現在 20～30 歳の世代としてではなく、）年齢層として 20 歳代、30 歳代の参加率が低い傾向にあることがわかる。

■ 啓発影響力

問 29 では、「あなたが、人権問題などについて知識を得たり、学習したりした中で最も影響を受けた又は知識を得ている方法は何ですか。」という質問で、人権問題に関するメディアの影響力を調べた。

最も回答が多かったのは、「テレビ」で 59.17%の人が選択した。次に「新聞」の 45.52%、「学校・教育機関での授業」の 33.77%と続き、最も少なかったのは、「ラジオ」で 5.48%であった。

回答比較（日常生活におけるメディアの啓発影響力）



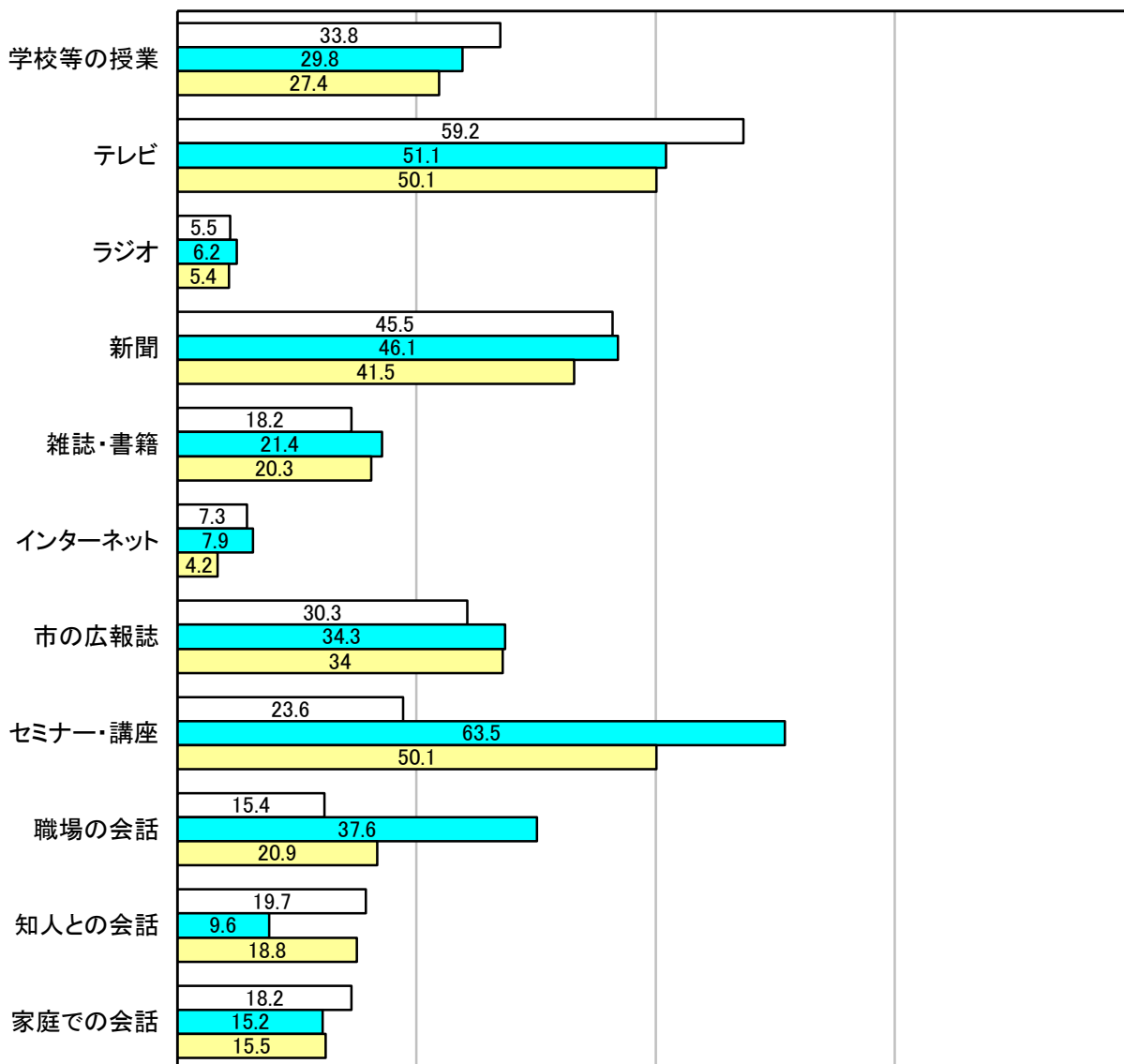
■ 問23 普段の生活の中で、情報・知識を得る方法(量的影響力)

■ 問29 人権問題について、情報・知識を得る方法(質的影響力)

(桃票) 問 23 では、「あなたが、普段の生活の中で、情報・知識を得る方法はどのようなものですか」という質問で、日常生活の中におけるメディアの影響力を調べている。これを仮に「量的影響力」とし、問 29 の人権問題に関するメディアの影響力を「質的影響力」とした場合、両者を対比してみると、量的影響力では、「テレビ」、「新聞」が他を大きく上回る影響力を発揮しているのに対して、「質的影響力」では、「テレビ」、「新聞」、「インターネット」などの影響力が下がり、「量的影響力」では5%程度にすぎなかった「学校・教育機関での授業」や「セミナーや研修会、地域での講座」が高い値となっている。

情報発信の「量」と「効果」という観点から見ると、人権問題に関する啓発においては、「情報の量」(情報の発信量)よりも「情報の質」(情報の入手方法)のほうが影響を与える要因であるといえる。

回答比較（問 28 講座・講演会への参加状況別）



問 29 人権問題などについて知識を得たり、学習したりした中で最も影響を受けた方法

□ 全体 ■ 何回となく参加 ■ 1～2回参加

問 28 で講演会・講座に参加したことがある人の回答を見ると、「何回となく参加した」場合も、「1～2回参加した」場合も、影響を受けたものとして「セミナーや研修会、地域での講座」を他のメディアよりも最も多くの人があげしており、講座等の学習効果の高さが見て取れる。

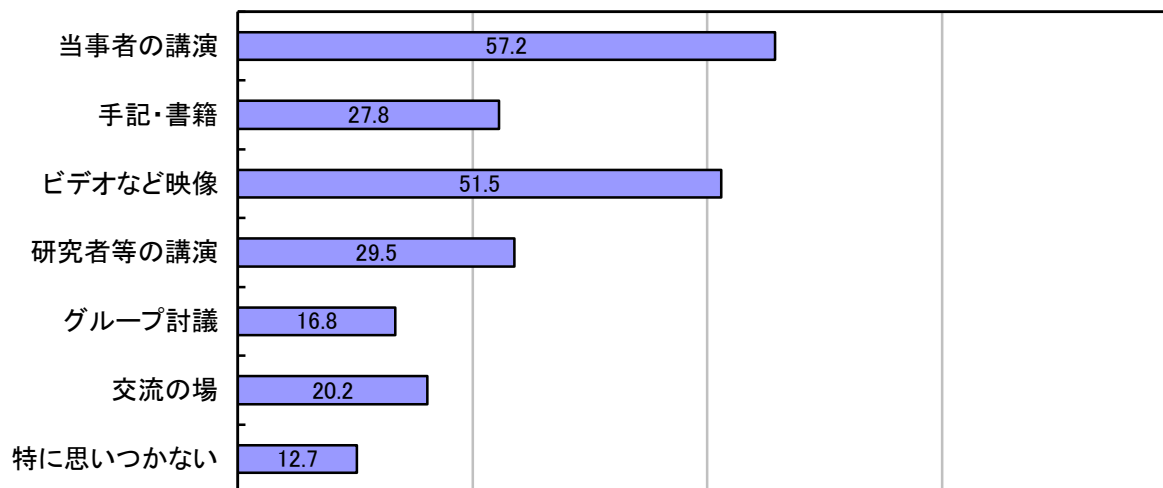
■ 学習方法のニーズ

問 30 では、「あなたは、人権問題のことをこれからどのような方法で学びたいと思いますか。」という質問で、学習方法のニーズを調べた。

最も多かった回答は、「映画、テレビ番組、ビデオなど映像を利用して学びたい」で 43.09%の人が選

択した。次に「特に思いつかない」の33.75%、「当事者の講演などを聞きたい」の31.87%となり、「特に思いつかない」を除くと、地域公民館での講演会、地区公民館での人権啓発ビデオ巡回講座といった現在行われている人権講座の方法が選ばれた結果となった。

回答比較（問28 講座・講演会への参加状況別）



問28で講座等に「何回となく参加した」と回答した人

問30 人権問題のことをこれからどのような方法で学びたいと思いますか。

問28の講座・講演会について「何回となく参加した」と回答した人の、学習方法のニーズについて見てみると、「当事者の講演などを聞きたい」の57.23%と、「映画、テレビ、ビデオなど映像を利用して学びたい」の51.45%では、回答が過半数を超えており、現在の啓発・学習方法について、一定の満足度を得られていることがわかる結果となった。